

1. FD、MO、CD-R、EDIのファイル仕様

項番	項 目	内 容							
1	作成単位	同一料金月、同一料金群でお客さま単位（会社コード単位）							
2	作成対象サービス	統合請求（パケット回線）							
3	F Dサイズ	3. 5 インチ				CD-R	MO	E D I 解凍時	
4	フォーマット形式	2 H D		2 D D		6 5 0 M B	1 2 8 M B	2 H D	
		1. 25 M B	1. 44 M B	640 K B	720 K B			1. 25 M B	1. 44 M B
5	最大出力件数 （圧縮時）	2, 4000 レ コード*	2, 800 レコード*	1, 200 レコード*				2, 400 レコード*	2, 800 レコード*
		(19, 200)	(22, 400)	(9, 600)		圧縮なし			
6	使用コード	MS-DOS：J I Sコード I B M：E B C D I Cコード				MS-DOS：J I Sコード*			
7	レコード長	MS-DOS：固定長。512 バイト ＋2 バイト（復帰、改行コード* が付加 されます） I B M：固定長。5 1 2 バイト				MS-DOS：固定長。512 バイト＋2 バイト （復帰、改行コード* が付加されます）			
8	ファイル形式	MS-DOS：固定長テキストフ ァイル形式。 I B M：固定長ファイル形式。 （1 枚に収容しきれない場合は、 同一ファイル名で、 複数枚作成します。）				MS-DOS：固定長テキストファイル形 式。			
9	ファイル名	【F D、M O、C D-R】 F＋会社コード*（会社コード*→弊社がお客さま識別 するために付与した識別コード5桁） 例：F12345 圧縮時：F＋会社コード*＋拡張子 例：F12345nn.exe（nn：F D 作成通番。01～99） 【E D I】 X＋請求回数（0～9）＋請求年（西暦下2桁）＋月（1～9、A、 B、C）＋群（1～9、A～V）＋通番（01～99）						データ保存時、お客様 にて任意設定。	

<圧縮について>

お客さま提供データの圧縮希望時は、フリーソフトウェアの「高圧縮管理プログラムLHA」を使用し、自己解凍形式（プログラム形式）で圧縮します。

【圧縮したデータの解凍手順】

- （1）実行ファイル（拡張子.exeのファイル）をハードディスク等にコピーし、ダブルクリックします。
- （2）実行ファイルが自動的にパケット番号別明細内訳書の各ファイルを読み出してファイルの復元を行います。

（*フリーソフトウェア：著作権は放棄されていないが、使用は自由なソフトウェア）

2. データレコードの形式

請求単位データ1	請求単位データ2	～	請求単位データn
----------	----------	---	----------

パケット回線番号別 内訳レコード	パケット回線番号別 内訳レコード2	～	パケット回線番号別 内訳レコード2	～	パケット回線番号別 内訳レコード	パケット回線番号別 内訳レコード2	～	パケット回線番号別 内訳レコード2	請求書作成番号合計 レコード	請求書作成番号合計 レコード2	～	請求書作成番号合計 レコード2
パケット回線番号1番目				パケット回線番号N番目				ご請求番号1番目				

1. 同一回線の請求内訳情報が「パケット回線番号別内訳レコード」（17 請求内訳格納）に収まらない場合、オーバ請求内訳分を「パケット回線番号別内訳レコード2」（17 請求内訳格納）に格納、又、それでも収まらない場合更に「パケット回線番号別内訳レコード2」に格納ことから、「パケット回線番号別内訳レコード」から「レコードNo」をシーケンスに付与する。
2. 請求書作成番号合計レコードも、上記1項と同様のレコード構成となる。

3. データレコードフォーマット

(1) 管理レコード

会社 コード	予備	データ 種類 [01]	予備	請求期別			媒体 通番	網 種別	媒体 識別	請求 回数	詳細 群	予備
				年	月	群						
5	6	2	4	4	2	1	2	1	3	1	1	480

(計、512 桁)

(2) パケット回線番号別内訳レコード

①パケット回線番号別内訳レコード (第1レコード)

ご利用期間	検針日	予備	パケット通信料今月分	予備	ご請求金額	予備	減算不能区分	予備	部課別コード	ご請求番号	レコード数	レコードNo	データ種類 「11」	定期分割番号	予備	パケット回線番号	パケットサービス種類				
																		基本等		通信等	
																		初日	末日	初日	末日
4	4	4	4	4	4	10	10	35	10	5											

請求内訳 1					請求内訳 2 ～請求内訳 16 内訳数は可変 (内訳がない 場合は、ブラン ク)	請求内訳 17					予 備
利 用 内 訳 コ ー ド	請 求 内 訳 コ ー ド	内 訳 金 額	残 回 数	税 区 分		利 用 内 訳 コ ー ド	請 求 内 訳 コ ー ド	内 訳 金 額	残 回 数	税 区 分	
2	4	10	3	2	315	2	4	10	3	2	14

(計、512 桁)

②パケット回線番号別内訳レコード2 (第2レコード以降)

頁 パ ケ ッ ト 回 線 番 号	予 備	定 期 分 割 番 号	デ ー タ 種 類 「11」	レ コ ー ド N o	レ コ ー ド 数	ご 請 求 番 号	部 課 別 コ ー ド	予 備	請求内訳 1					請求内訳 2 ～請求内訳 16 内訳数は可変 (内訳がない場 合は、ブラン ク)	請求内訳 17					予 備
									利 用 内 訳 コ ー ド	請 求 内 訳 コ ー ド	内 訳 金 額	残 回 数	税 区 分		利 用 内 訳 コ ー ド	請 求 内 訳 コ ー ド	内 訳 金 額	残 回 数	税 区 分	
1	7	2	1	2	2	10	6	108	2	4	10	3	2	315	2	4	10	3	2	14

(計、512 桁)

(3) 請求書作成番号合計レコード

①請求書作成番号合計レコード（第1レコード）

ご利用期間	ご利用期間				検針日		パケット通信料		予備	請求合計金額	請求件数	口座振替			予備	送付先名	予備							
	基本料等		通信料等									金融機関コード	口座番号	口座名義										
	初日	末日	初日	末日	前回	今回	予備	今月分																
10	1	2	2	2	10	6	14	4	4	4	4	4	4	10	10	35	10	8	7	8	40	5	40	268

(計、512 桁)

②請求書作成番号合計レコード2（第2レコード以降）

ご請求番号	予備	データ種類	レコードN°	レコード数	予備	部課別コード	予備
10	1	「51」	2	2	10	6	108

請求内訳 1 (21 桁)					請求内訳 2 ～請求内訳 16 内訳数は可変 (内訳がない場合は、 ブランク)	請求内訳 17 (21 桁)					予備
利用内訳コード	請求内訳コード	内訳金額	残回数	税区分		利用内訳コード	請求内訳コード	内訳金額	残回数	税区分	
2	4	10	3	2	315	2	4	10	3	2	14

(512 桁)

(4) 会社合計レコード

会社コード	予備	データ種類	予備	会社合計		予備
				請求金額	請求件数	
5	6	「91」	4	12	8	4 7 5

(512 桁)

4. データレコード内容

(1) 管理レコード

項番	項 目 名	区別	桁数	内 容
1	会 社 コ ー ド	文字	5	弊社がお客さま単位に設定した番号 例：3000
2	予 備	文字	6	
3	デ ー タ 種 類	文字	2	ALL「01」
4	予 備	文字	4	
5	請 求 期 別	年	4	西暦4桁で記録。
6		月	2	「01」～「12」
7		群	1	「1」～「6」 詳細はコード表「項番5、料金群・詳細群」参照
8	媒 体 通 番	数字	2	お客さま単位の出力媒体枚数の一連番号 「01」～「99」
9	網 種 別	文字	1	「2」…パケット
10	媒 体 識 別	文字	3	FDの場合…「FD△」 EDIの場合…「EDI」 MOの場合…「MO△」 CD-Rの場合…「CDR」 ビリングステーション（注1）をご契約の場合… 「BS△」
11	請 求 回 数	文字	1	同一請求番号で、同一月内に請求書発行した回数 （料金群変更時等）、 *再発行は対象外
12	詳 細 群	文字	1	詳細群を「A」～「V」、「0」～「9」 で設定。詳細はコード表「項番5、料金群・詳細群」参照
13	予 備	文字	480	

（注1）：ビリングステーションとは、電話等サービスの「料金・通話明細データ」を
専用 Web サーバーからダウンロードできるオンラインサービスです。

(2) パケット回線番号別内訳レコード

①パケット回線番号別内訳レコード (第1レコード)

項番	項 目 名			区別	桁数	内 容
1	パケットサービス種類			数字	1	パケットサービス種類 コード表「項番 6、非電話サービス種別」参照
2	パケット回線番号			数字	7	パケット回線番号を設定。 例：“1234567”
3	予備			数字	2	
4	定期分割番号			数字	1	「0」固定
5	データ種類			数字	2	「11」固定
6	レコードNo			数字	2	同一回線番号でのレコードNo
7	レコード数			数字	2	同一回線番号でのレコード数
8	ご請求番号			数字	10	弊社がお客さま単位に設定した 請求書作成番号 例：“0001234567”
9	部課別コード			数字	6	ALL0を設定
10	予備			文字	1	
11	減算不能区分			数字	1	コード表「項番 1、減算不能区分コード」参照
12	予備			文字	12	スペースまたは英数字
13	ご利用期間	料基本等	初日	数字	4	利用期間の初日（開始）および末日（締切）を出力。 例：開始 10月 1日→1001 締切 10月31日→1031
			末日	数字	4	
		料通信等	初日	数字	4	
			末日	数字	4	
14	検針日		前回	数字	4	ALL「0」
			今回	数字	4	
15	パケット通信料		予備	文字	10	
			今月分	数字	10	今月分のパケット通信料。 右詰で不足桁分はオール「0」
16	予備			文字	35	
17	ご請求金額			数字	10	該当回線の請求額 例：5250 円の場合 → “0000005250” マイナス金額の場合、符号付編集（「項番 5、内訳額マイナス時の記録形式について」参照）
18	予備			文字	5	
19	請求内訳1	利用内訳コード		数字	2	コード表「項番 3、利用内訳コード」参照
20		請求内訳コード		文字	4	コード表「項番 7、請求内訳コード」参照。
21		内訳金額		数字	10	請求内訳コード毎の金額を出力。 ・マイナス金額の場合、符号付編集。 (コード表「項番 4、内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
22		残回数		文字	3	スペース
23		税区分		数字	2	コード表「項番 4、税区分コード」参照
24	請求内訳 2～請求内訳 16				315	

(第1レコードの続き)

項番	項 目 名		区別	桁数	内 容
25	請求内訳 17	利 用 内 訳 コ ー ト *	数字	2	2 個目以降の請求内訳を示し、内訳が、 存在しない場合は、スペース (請求内訳は、最大17内訳。 17内訳を超える場合は、第2レコ ード以降に編集)
26		請 求 内 訳 コ ー ト *	文字	4	
27		内 訳 金 額	数字	10	
28		残 回 数	文字	3	
29		税 区 分	数字	2	
30	予	備	文字	14	

②パケット回線番号別内訳レコード2（第2レコード以降）

項番	項 目 名		区別	桁数	内 容
1	パケットサービス種類		数字	1	パケットサービス種類 コード表「項番 6、非電話サービス種別」参照
2	パケット回線番号		数字	7	パケット回線番号を設定。 例：“1234567”
3	予 備		数字	2	
4	定期分割番号		数字	1	「0」固定
5	データ種類		数字	2	「11」固定
6	レコードNo		数字	2	同一回線番号でのレコードNo
7	レコード数		数字	2	同一回線番号でのレコード数
8	ご請求番号		数字	10	弊社がお客さま単位に設定した 請求書作成番号 例：“0001234567”
9	部課別コード		数字	6	ALL0を設定
10	予 備		文字	108	
11	請求内訳1	利用内訳コード	数字	2	コード表「項番 3、利用内訳コード」参照
12		請求内訳コード	文字	4	コード表「項番 7、請求内訳コード」参照。
13		内 訳 金 額	数字	10	請求内訳コード毎の金額を出力。 ・マイナス金額の場合、符号付編集。 (コード表「項番 4、内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
14		残 回 数	文字	3	スペース
15		税 区 分	数字	2	コード表「項番 4、税区分コード」参照
16	請求内訳2～請求内訳16			315	
17	請求内訳17	利用内訳コード	数字	2	2 個目以降の請求内訳を示し、内訳が、 存在しない場合は、スペース (請求内訳は、最大 17 内訳。 17 内訳を超える場合は、第 3 レコ ード以降に編集)
18		請求内訳コード	文字	4	
19		内 訳 金 額	数字	10	
20		残 回 数	文字	3	
21		税 区 分	数字	2	
22	予 備		文字	14	スペースまたは英数字

(3) 請求書作成番号合計レコード (ご請求番号別内訳)

①請求書作成番号合計レコード (第1レコード)

項番	項 目 名			区 別	桁数	内 容
1	ご 請 求 番 号			数字	10	弊社がお客さま単位に設定した 請求書作成番号 例：“0001234567”
2	予 備			文字	1	スペースまたは英数字
3	デ ー タ 種 類			数字	2	「51」固定
4	レ コ ー ド N o			数字	2	同一ご請求番号でのレコードNo
5	レ コ ー ド 数			数字	2	同一ご請求番号でのレコード数
6	予 備			文字	10	
7	部 課 別 コ ー ド			文字	6	ALL “0”
8	予 備			文字	14	
9	ご 利 用 期 間	基本料等	初 日	数字	4	利用期間の初日（開始）および末日（締切）を出力。 例：開始 10月 1日→1001 締切 10月31日→1031
			末 日	数字	4	
		通信料等	初 日	数字	4	
			末 日	数字	4	
10	検針日		前 回	数字	4	ALL「0」
			今 回	数字	4	
11	パケット 通信料		予備	文字	10	今月分のパケット通信料。 右詰で不足桁分はオール「0」
			今月分	数字	10	
12	予備			文字	35	
13	請 求 合 計 金 額			数字	10	請求書作成単位の請求額。 例：100000円の場合、 → “0000100000”
14	請 求 件 数			数字	8	請求書作成単位のパケット回線数。 例：100回線の場合、 → “00000100”
15	口座 振替	金 融 機 関 コー ド		文字	7	口座振替の場合、金融機関コード。 口座振替以外は、ALLスペース
16		口 座 番 号		文字	8	口座振替の場合、口座番号。 口座振替以外は、ALLスペース
17		口 座 名 義		文字	40	口座振替の場合、半角カナ左詰め of 口座名義。 口座振替以外は、ALLスペース
18	予 備			文字	5	
19	送 付 先 名			文字	40	請求書送付先氏名を半角カナ左詰めで出力
20	予 備			文字	268	

②請求書作成番号合計レコード2（第2レコード以降）

項番	項 目 名		区別	桁数	内 容
1	ご 請 求 番 号		数字	10	弊社がお客さま単位に設定した 請求書作成番号 例：“0001234567”
2	予 備		文字	1	
3	デ ー タ 種 類		数字	2	「51」固定
4	レ コ ー ド N o		数字	2	同一ご請求番号でのレコードNo
5	レ コ ー ド 数		数字	2	同一ご請求番号でのレコード数
6	予 備		文字	10	スペースまたは英数字
7	部 課 別 コ ー ド		文字	6	ALL“0”
8	予 備		文字	108	スペースまたは英数字
9	請求 内 訳 1	利 用 内 訳 コーﾄﾞ	数字	2	コード表「項番3、利用内訳コード」参照
10		請 求 内 訳 コーﾄﾞ	文字	4	コード表「項番7、請求内訳コード」参照。
11		内 訳 金 額	数字	10	請求内訳コード毎の金額を出力。 ・マイナス金額の場合、符号付編集。 (コード表「項番4、内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
12		残 回 数	文字	3	スペース
13		税 区 分	数字	2	コード表「項番4、税区分コード」参照
14	請求内訳2～請求内訳16			315	
15	請求 内 訳 17	利 用 内 訳 コーﾄﾞ	数字	2	2個目以降の請求内訳を示し、内訳が、 存在しない場合は、スペース (請求内訳は、最大17内訳。 17内訳を超える場合は、第3レコード以降に編集)
16		請 求 内 訳 コーﾄﾞ	文字	4	
17		内 訳 金 額	数字	10	
18		残 回 数	文字	3	
19		税 区 分	数字	2	
20	予 備		文字	14	

(4) 会社合計レコード

項番	項 目 名		区別	桁数	内 容
1	会	社 コ ー ド	数字	5	弊社がお客さま単位に設定した番号。 例：3 0 0 0 9
2	予	備	文字	6	
3	デ	ー タ 種 類	数字	2	「9 1」固定
4	予	備	文字	4	スペースまたは英数字
5	会 社 合 計	請 求 金 額	数字	1 2	会社コード単位の請求金額合計。 例：1 0 0 0 0 0 0 0 円の場合、 → “0 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0”
6		請 求 件 数	数字	8	会社コード単位のパケット回線数。 例：1 0 0 0 0 回線の場合、 → “0 0 0 1 0 0 0 0”
7	予	備	文字	475	

5. 内訳額マイナス時の記録形式について

(1) IBM (EBCDICコード)

(例)

マイナス 金 額	表示 形式	内訳金額欄									
		1 桁 目	2 桁 目	3 桁 目	4 桁 目	5 桁 目	6 桁 目	7 桁 目	8 桁 目	9 桁 目	10 桁 目
-100	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	}
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D0
-101	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	J
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D1
-102	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	K
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D2
-103	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	L
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D3
-104	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	M
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D4
-105	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	N
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D5
-106	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	O
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D6
-107	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	P
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D7
-108	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	Q
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D8
-109	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	R
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D9

注、F0～F9：数字「0」～「9」の16進数表示。

D0～D9：マイナスサイン付き数字「0」～「9」の16進数表示。

(2) DOS (JIS8コード)

(例)

マイナス 金 額	表 示 形 式	内訳金額欄									
		1 桁 目	2 桁 目	3 桁 目	4 桁 目	5 桁 目	6 桁 目	7 桁 目	8 桁 目	9 桁 目	10 桁 目
－ 1 0 0	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	30
－ 1 0 1	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	31
－ 1 0 2	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	32
－ 1 0 3	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	33
－ 1 0 4	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	4
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	34
－ 1 0 5	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	5
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	35
－ 1 0 6	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	6
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	36
－ 1 0 7	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	7
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	37
－ 1 0 8	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	8
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	38
－ 1 0 9	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	9
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	39

注、2D：マイナス「－」の16進数表示。30～39：数字「0」～「9」の16進数表示。